

## 令和元年度第3回花巻市教育委員会議（定例会）会議録

### 1 開催日時

開会 令和元年7月24日（水）午前10時00分

閉会 令和元年7月24日（水）午前10時35分

### 2 開催場所

石鳥谷総合支所3階 3-2・3-3会議室

### 3. 出席委員（5名）

教育長 佐藤 勝

委員 中村 弘樹

委員 役重 眞喜子

委員 衣更着 潤

委員 熊谷 勇夫

### 4. 欠席委員（1名）

委員 伊藤 明子

### 5. 説明のため出席した職員

教育部長 岩間 裕子

教育企画課長 小原 賢史

学務管理課長 佐々木 晋

学校教育課長 中村 哲

こども課長 今井 岳彦

文化財課長 平野 克則

### 6. 書記

教育企画課 課長補佐 大竹 誠治 総務企画係長 大和 あゆみ

主査 佐々木 晶子（書記）

### 7. 議事録

#### ○佐藤教育長

開会の前ですけれども、本日伊藤明子委員から欠席の申し出がございましたので申し伝えます。今日の議題、議案第6号と第7号につきましては、教科書の採択に係わる案件となっております。教科書の採択につきましては、この定義の中で、県が発表するま

で公表を差し控えることとしたいと考えてございますので、この点についてご了承いただきたいと思っております。広域採択ということで、花巻市、北上市、西和賀町の3市町の共同ということで、それぞれの市町で採択になりました後、県の方から公表するというように考えております。そういうことで本日の会議録の公開につきましても、9月に入ってから公開ということで、ご了承いただきたいと思っております。

**○佐藤教育長**

それではただ今から令和元年第3回花巻市教育委員会議、定例会を開催いたします。会議の日時、令和元年7月24日午前10時。会議の場所、石鳥谷総合支所3-2・3-3会議室。

日程第1、会期の決定になります。本日1日とすることにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

**○佐藤教育長**

はい、それではご異議なしと認め、本日1日と決定いたします。

では、日程第2、議事に入ります。議案第6号「花巻市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて」を議題といたします。事務局から提案内容の説明をお願いいたします。

**○平野文化財課長**

はい。

**○佐藤教育長**

はい。では平野文化財課長お願いします。

**○平野文化財課長**

議案第6号「花巻市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて」を御説明申し上げます。花巻市博物館協議会は、博物館法第20条及び花巻市博物館条例第11条の規定により、博物館の運営に関し議長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置しているものであります。委員につきましては、同条例に基づき、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のあるものの中から任命するものであります。委員の任期は2年となっておりますが、現在任命しております学校教育関係者の委員の1人が定年退職したことから、新たに任命しようとするものであります。以下、議案書1ページと議案第6号資料をあわせてご覧願います。新たに任命しようとする委員についてご説明申し上げます。佐藤努氏、59歳、石鳥谷中学校校長であります。花巻市校長会から推薦いただいたところであります。任期につきましては、前任者の残任期間となりますことから、令和2年6月30日までであります。以上で説明終わりますが、御決定賜りますようお願い申し上げます。

**○佐藤教育長**

ただいま事務局より説明がございました。本件は人事案件でありますので、質疑・討論を省略し直ちに採決に入ります。このことについてご異議ございませんか。

(異議なしの声)

**○佐藤教育長**

それでは、ご異議ありませんので、質疑・討論を省略し、直ちに採決に移ります。お諮りいたします。議案第6号「花巻市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて」を原案のとおり、決することでご異議ございませんか。

(異議なしの声)

**○佐藤教育長**

はい。ありがとうございます。では、異議なしと認め、議案第6号は原案のとおり決定いたしました。次に、議案第7号「令和2年度使用小学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて」を議題といたします。事務局から説明を求めます。はい。中村学校教育課長。

**○中村学校教育課長**

議案第7号、「令和2年度使用小学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて」を御説明申し上げます。教科用図書いわゆる教科書は、学習指導要領に基づき教科書会社が編集し、翌年文部科学大臣の検定を受け、2年目にその中から市町村教育委員会が採択し、3年目に各学校で使用を開始する流れになっております。今般平成29年告示の新学習指導要領に基づき、平成30年度検定で合格した小学校教科書の中から、11教科13種目について採択しようとするものであります。なお、本議案については過日行われました「花巻・北上地区教科用図書採択協議会」の結果をもとに、採択に関する議決を求めるものです。以下議案書2ページをご覧ください。採択しようとする教科書の、教科、種目、発行者、書名につきましては、議案書の表に記載のとおりでありますので、説明を省略させていただきます。また、採択理由については議案第7号資料の記載のとおりでありますのでお目通し願います。以上で説明を終わりますがよろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

**○佐藤教育長**

ただいま教科用図書の採択について、経過あるいは理由についての説明を受けました。本案に関して、委員から質疑はございませんか。13種ということで、かなりボリュームがございますが。はい、役重委員。

**○役重委員**

はい。採択協議会とか調査委員会のほうでは、今回の採択に関して何か御意見とか指摘などがもしあったということであれば、教えていただきたいと思います。

#### ○中村学校教育課長

7月19日に北上合同庁舎で採択協議会、先ほど教育長からありましたように、北上市、花巻市、西和賀町、それぞれの教育委員会、関係者で集まりまして協議をいたしました。その前段のところ、採択に当たって資料の説明が、その採択理由を作成した検討委員会のほうからありました。基本的にはほとんど、委員の意見をもとに採択がされたわけですが、1教科1種目についてその意見と異なった結果がありました。それは家庭科についてであります。家庭科について別会社の教科書が良いのではないかという意見がございました。学校側から提出された意見書の多くが今回の議案書記載の教科書であり、採択協議会でいろいろ意見交換を行い協議した結果、学校側の意見を尊重するというので今回御提案の教科書という結果になりました。そういう経過でございました。

#### ○佐藤教育長

補足いたしますと、どちらの教科書も教育委員会のほうで展示・閲覧を通した学校側の検討があり、また研究員あるいは検討委員会で絞られて、最後どちらにということになりました。大きな観点からすると、花巻・北上・西和賀の広域地区の子供たちのいわゆる言動、実態に即して記述されているのはどちらなのか。あるいは日常との結びつきと言うか、生活観と言いますか、そういった観点からどちらの方が良いのだろうか、そういったことが話し合われたという経過でございました。

#### ○役重委員

そうしますと、それは全体的な構成とかクオリティのことであって、何かその特定のテーマとか一種で意見が分かれたということではないということでしょうか。

#### ○中村学校教育課長

はい。それぞれの教科書会社の編集における基本的な考え方というのがございます。今回採択協議会で選んだ教科書に関しては、先ほど教育長も申しあげましたように子供たちの実生活に基づいてその課題を考えながら、取り組みながら、解決していくという編集方針。またもう一社の教科書は、基礎基本の内容をしっかりと順番に系統立てて教えるという基本内容となっております。そのような大きな違いはございましたが、その中で編集した結果を見ると、編集内容に大きな違いはないということ。また、県内の状況を調べてみると、今回採択されている教科書会社を選択した地域もかなり多いというこれまでの経過、それらを踏まえまして最終的に今回の採択提案ということになっております。

#### ○佐藤教育長

そう捉えると、新しく指導要領で示された部分の、プログラミング、家族・家庭生活の充実、消費者教育、環境制度、E S D、そういった観点での記述が充実しているのが、こちらの会社のほうだったかな、ということでございます。他にございませんでしょう。

か。はい。

**○熊谷委員**

採択協議会での協議の結果を踏まえて今日の提案ということですが、例えば各教科領域においては、1つの教科どれぐらいの構成員でもって協議なされたのか、おおよそでもお分かりになればお聞きしたいと思います。というのは、1人じゃないのはもちろんですけど、2人で協議するのと、3人4人で協議するのでは、協議内容にも浅い深いという違いがあるのかなと思ったりするものですから。はい。よろしくお願ひします。

**○佐藤教育長**

はい、よろしいでしょうか。

**○中村学校教育課長**

はい。今回の花巻北上地区教科用図書採択にかかわって、まず現場の先生がたを中心とした教科用図書調査検討委員という方々、それから教科用図書研究員という大きく二つの組織でもって検討していただいております。教科用図書研究員というのは、各教科ごとに指導主事、校長先生あるいは副校長先生という管理職、それから学校現場の教諭ということで、3名から4名の構成員で一つの教科について研究をいただいております。その結果をもとに、教科図書調査検討委員会議というのを開いております。ここにつきましては、地区の保護者の代表の方、学校の校長、副校長、教諭からの参加、そして市町村教育委員会関係者ということで、研究員については合計44名。だいたい1教科4名前後。それから検討委員会議というところでは、それぞれの地域から3名程度の参加をもってお願いをしているところです。

**○佐藤教育長**

期間とすると、まず5月の上旬に採択協議会が組織になりまして、それから研究員の先生方の人選、それから教科用図書の調査検討委員会という方々の組織をつくり、今お話しありましたように各教科での研究員の方々の調査研究を踏まえてということで、約3カ月間かけてご検討いただきました。もちろん花巻市の教育委員さんの中からも願ひして、その調査検討委員会にも御出席いただいて、いろいろ御意見を述べていただきました。もしよろしければ、検討委員で御出席された委員さんから、今回の採択、あるいは今こうやって図書が13種示されておりますけれども、その辺のところの印象であるとか、あるいはその採択にかかわっての中でさまざま議論されたこととか、もしございましたら1つ2つ御紹介いただければありがたいと思いますが。中村委員さん。

**○中村委員**

はい、とても短時間で1教科5分程度の説明を受けての検討ということでしたが、非常に考えて選んでいただいた教科書でしたので、あまり反対意見などはございませんでした。それでもやはり、社会情勢への疑問など教科書に反映されているのかという点について意見が出されておりました。あと、私の意見でしたが、今回の教科書にはウェブ

ページとかQRコードなどがかなり多く採用されているので、それに対応できている教室が幾つあるのかなということで、そちらのほうに心配であるということをお伝えしました。それに対応をできるように、早く教育委員会のほうでご検討してほしいということをお願いしました。はい。以上です。

#### ○佐藤教育長

衣更着委員さん。

#### ○衣更着委員

そうですね。なかなか良い教科書を選んでいただいたと思います。私の学生時代に比べれば大分進化しており、ウェブで閲覧するのは今の時代は当たり前ですし、タブレットで授業をして今後教科書はどうなっていくんだろうなという質問もありました。重い教科書を毎日持って歩くのかというような質問には、今はまだそういう流れにはなっていない。IT化も始まったばかりで今後はどうなるか分からない。そういう動きを見ながらだということでしたが、それでもすいぶん進化したなという印象です。

我々は検討委員なのですがすけれども、その前段として研究員の方が2社ぐらいに絞って、5分ぐらいの説明を聞いて意見を出すというのなかなか大変なものがありました。意見を言ってもどうせ反映されないのかな、質問の内容もすぐパッと出てこないの、歯がゆいところもございました。どうせ委員として来たのならじっくりやりたい、意見を反映してもらいたいという思いもあったのですが、膨大な量なのでいたし方ないなという印象でした。でも結果を見ますと、やはりきちんと検討されているという印象ですし、良い教科書を選んだなと思います。はい。

#### ○佐藤教育長

はい。いま御指摘いただきましたようなことで、いわゆるQRコードに対応する環境整備、これは確かに今回の選択協議会のところでも大きな話題となりました。それからもう一つ、教科書の版が非常に大きくなって、そしてカラー刷りということで、ひと昔前の教科書のイメージと比べると、大きい、重くなっております。これに対応した取り組み、簡単に言うと子供たちが大きな教科書を背負って毎日登下校するということについて、少しこれ学校としても検討しないと、子供たちの負担、加重が大きいということ。これはいま全国的な問題にもなっておりますし、国からもいろんな通知がありまして、適切な対応をするようにということがございました。この問題については今後校長会とも相談しながら、対応というのをお願いしていかなければならないだろうなと思いますし、QRコード対応については施設設備の整備という観点から教育委員会で検討していかなくちゃならないと考えております。それから先ほどの調査検討委員会ですね、委員の方々にとっては時間的には余裕がなかった、もう少しじっくり見て内容説明を含めてしっかりした解釈に伴って検討したかったところでは、たぶん本音のところだと思います。これについては今回の反省として、また次回の採択もごございますので、その中で改善するということについて、採択協議会に申し入れて参りたいと思います。

他にございませんでしょうか。それでは、質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

それでは採決いたします。お諮りいたします。議案第7号「令和2年度使用小学校教科用図書採択に関し議決を求めることについて」を原案のとおり決することにご異議ありませんでしょうか。

(異議なしの声)

#### ○佐藤教育長

異議なしと認めます。議案第7号は原案のとおり可決されました。次に議案第8号、「令和2年度分使用中学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて」を議題といたします。事務局から提案内容の説明をお願いいたします。はい、中村学校教育課長。

#### ○中村学校教育課長

はい。議案第8号「令和2年度使用中学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて」を御説明申し上げます。小中学校で使用する教科用図書、いわゆる教科書については原則として4年間同一の図書を採択することとされております。令和元年度においては、中学校における特別の教科、道徳以外の教科書について新たに採択を行うこととされております。ただし、平成30年度検定におきまして新たに合格した図書がなかったため、基本的には前回の平成26年度検定合格図書の中から採択を行うこととなっており、4年間の使用実績を踏まえつつ前回採択における調査研究の内容等を活用することも考えられる旨、文部科学省から通知されているところです。今般、前回と同一の教科書について採択しようとするものでありますが、中学校については令和3年度実施予定の新学習指導要領に合わせて、令和2年度にも教科書の採択が予定されております。以下、議案書3ページをご覧ください。採択しようとする教科書の教科、種目、発行者、書名につきましては、議案書の表に記載のとおりでありますので、説明を省略させていただきます。以上で説明を終わりますがよろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

#### ○佐藤教育長

中学校の教科用図書採択についての理由提案について、そして15種の種目での採択についてということで二つの説明がありましたけれども、大丈夫でしょうか。採択に至った理由、大丈夫でしょうか。はい。

#### ○衣更着委員

前の実績をもとに踏襲する形なんですよ。それで令和2年に再度選び直すということでもよろしいですか。

#### ○佐藤教育長

はい。

**○中村学校教育課長**

はい。御指摘のとおりでございます。今年度、来年度につきましては今の教科書をそのまま使用する、令和3年度からの新指導要領に向けて、各会社で編集し直したものについて来年度に調査検討を踏まえた審議をする。それで採択を新たに行うということになります。

**○佐藤教育長**

つまり来年までが移行期間ということで、同じ移行期間内でのものを続けて使用することとしたい。そして令和3年度から完全実施になる指導要領に沿った形で、来年度は中学校の教科用図書の採択を行う。そういったことでございます。衣更着委員さん、大丈夫でしょうか。ご理解いただけましたでしょうか。ほかに何かご質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。はい。それでは質疑なしと認め、質疑を終結いたします。採決いたします。

お諮りいたします。議案第8号「令和2年度使用中学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて」を、原案のとおり決することに、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

**○佐藤教育長**

はい、それでは異議なしと認め、議案第8号は原案のとおり議決されました。以上で議案の審議は全て終了いたします。

続いて日程第3、報告事項に入ります。事務局から報告を願います。

**○大竹教育企画課長補佐**

それでは、今日の報告事項でございますけれども、お手元にお配りしてございます行事予定ということになってございます。8月1日に高校再編計画に関する意見交換会、こちらはお手元にチラシをお配りしてございますし、それからこの後行われる教育委員協議会でも改めて御説明申し上げます。

また同様にチラシをお配りしておりますけれども、博物館の開館15周年記念の特別展といたしまして「発掘された日本列島2019」というものが開催されますこちら、ぜひご覧になっていただきたいと思っております。8月に入りましてからは、東北中学校の体育大会バレーボール競技が花巻総合体育館で行われますし、以下、中学校陸上記録会、駅伝競走、それから中学校の新人大会、小学校陸上記録会というように順次開催されてまいります。

なお、特に改めての報告とはいたしませんけれども、8月13日から15日までは学校の休庁日ということで、一昨年試行され昨年度から完全実施をしているもので、今年度もこのような形で行われるということで報告いたします。以上でございます。

**○佐藤教育長**

この後期計画の意見交換会については、テーマは「各ブロック・地域にとって必要な学びとは何か」という非常に大きいテーマで、何を論点とすることになるのか非常に厳しいのですけれども、いわゆる後期計画というよりもこれからの高校教育についてのニーズを巡る議論といった事になろうかと思えます。市長と私とで行ってまいります。

「発掘された日本列島2019」については、お手元にあるパンフレットのとおりであります。大変大きな企画展という事になっております。オープニングが2日ということで、文科省、岩手日報社の後援をいただいておりますので、委員の皆様も何かの機会に足をお運びいただきたいと考えております。これについては花巻、遠野の子供たちがふるさとパスポートを使って無料で、さらに保護者の方お一人も無料で見学できるということで、多くの子ども達にも見てほしいと願っております。それから8月24日ですね、中学校の陸上競技大会。例年どおりの市内の競技大会ですけれども、今年は清風支援学校の子供たちも出場するという事です。

それでは、以上で本日の日程の全てを終了いたします。